

種類と規格

コロクリンPC

種類	商品コードNo.	規格 (セット内容)	1函入数
セット	13401	洗浄液バッグ : 1コ	1セット
		2段式ストッパー : 1コ	
		コロクリンPC用フェースプレート : 1コ	
		コロクリンPC用ドレーンチューブ : 5枚	
		携帯用バッグ : 1コ	
		ミニパウチ・Kスーパー : 2枚	
ユーケアー・C : 2枚			

関連商品

	品名	商品コードNo.	規格	1函入数
コロクリンPC部品	洗浄液バッグ	13411	容量2000mL (ロールクランプ付)	1コ
	2段式ストッパー	13412	シリコンゴム製 (コネクター付)	1コ
	コロクリンPC用 フェースプレート	13413	ストーマ有効径55mm (ベルト付)	1コ
	コロクリンPC用 ドレーンチューブ	13414	袋サイズ(縦×横) 900mm×150mm	5枚
別売	コロクリンPC 細型ストッパー	13415	シリコンゴム製 (コネクター付)	1コ

for Best Care **ALCARE**

コロクリン[®]PC

Coloclean PC

人工肛門洗腸セット

Colostomy Irrigation set

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、商品の特性を十分理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書はお手元に置き、必要に応じてお読みください。

一般医療機器
ストーマ用洗浄キット
医療機器届出番号: 13B1X00207000017

お客様相談室 ☎ 0120-770-175
(土・日・祝日を除く 午前9:00~午後5:30)
www.alcare.co.jp

ALCARE

アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
TEL.03-5611-7800(代表) FAX.03-5611-7825
www.alcare.co.jp

はじめに

《コロクリンPC》は、人工肛門の方が洗腸を行う際に使用する専用装具です。

ストーマから腸内に微温湯を入れることにより、強制的な排便管理を行う場合にのみご使用いただけます。

安全にお使いいただくため、上記用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従いご使用ください。

*【使用上のご注意】や【保管上のご注意】では、危険度に応じて次の区分をしています。

△「警告」…誤った取り扱いをすると、①中等度以上の人身事故が想定される内容を示します。

「注意」…誤った取り扱いをすると、人が②軽度の障害を負ったり、③物的損害の発生が想定される内容を示します。

①「中等度以上の人身事故」とは失明、けが、熱傷（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院または長期の通院を要するものを示します。

②「軽度の障害」とは治療に入院や長期の通院を要さないもの（上記以外）を示します。

③「物的損害」とは当該製品以外の家屋・家財（衣料品、寝具などを含む）および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

使用上のご注意

警告

■洗腸の適応について

洗腸を始められる方は、必ず医師の指導を受けてから行ってください。万一、洗腸に不適な方が行いますと危険性を含みますので絶対に使用は避けてください。

- 人工肛門の方でも全く洗腸を適用できない場合があります。また、人工肛門の種類（手術方式やストーマの位置など）や体の状態によっても使用条件が異なります。
- 心臓病や糖尿病、高血圧などの方も洗腸に不適な場合がありますので、必ず医師に相談してください。

■洗腸の中止について

- 洗腸をはじめの前には、必ずその日の体調を確認してください。体調が悪い時（気分がすぐれない場合や風邪・腹痛時など）は無理をしないで洗腸を中止してください。
- 洗腸を実施中に気分が悪くなった場合は、微温湯の注入を中止し、医師に相談してください。継続すると更に症状が悪化するなどの危険性があります。

■ストッパーについて

ストッパーの使用は、必ず医師の指導を受けてください。扱い方によっては腸壁に穴が開くなどの危険を伴います。

- ストッパーを改造したり、ストッパーの先端からカテーテルを突出させるなどして使用しないでください。腸壁に穴が開いたり、傷がつくなどの原因となり非常に危険です。
- ご使用前には毎回、ストッパーに傷や異物などが無いことを確認してください。これらがあると、ストーマ孔に傷をつける原因となります。
- ストッパーは、むりやりに押し込まないでください。ストーマ孔に傷をつけたり、出血や痛みを起こす原因となります。

注意

■洗腸実施の時間帯について

- 食後1～2時間や空腹時は避けてください。食後時間が経っていない時や逆に空腹時に洗腸を行うと、気分が悪くなったり嘔吐することがあります。

■微温湯について

- 使用する洗浄液は、清潔な38～40℃の微温湯（指を入れてやや温かい程度のお湯）を用いてください。汚れた水や冷水を用いると、気分が悪くなったり貧血を起こすなどして危険です。また、熱すぎると熱傷の原因となります。

■微温湯の注入速度と注入量について

- 注入速度（1分間に約100mL）や注入量（約500～1,000mL）は、必ず医師の指示を守ってください。特に、注入量は大腸の長さなどにより個人差がありますので、必ず医師に確認してください。注入速度が速すぎたり注入量が多いと、吐き気や腹痛などを起こす原因となります。

■ロールクランプについて

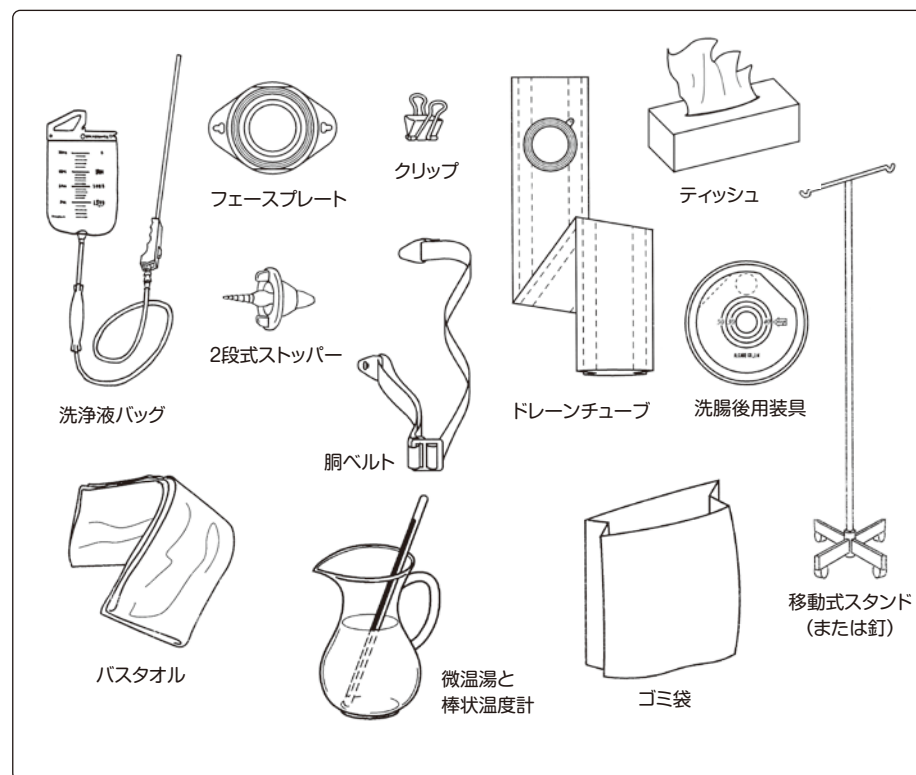
- ロールクランプはシリコンチューブ用です。塩ビチューブの位置に付け換えた場合、流量調節が不完全な場合があります。

■器具の破損確認について

- ご使用前には毎回、洗浄液バッグ、ドレインチューブ、胴ベルト、フェースプレート、ストッパーの傷や破損の有無を確認してください。万一破損していますと、衣服などを汚す可能性があります。

使用手順

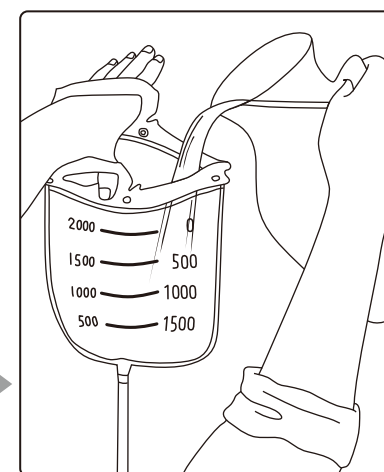
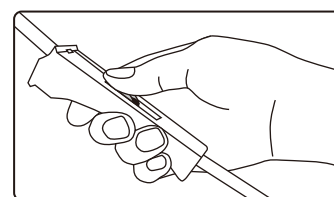
1. 必要物品を準備します



2. 微温湯を準備します

ロールクランプが閉じていることを確認し、洗浄液バッグに微温湯を2,000mL強（注入・後片づけ用）入れます。

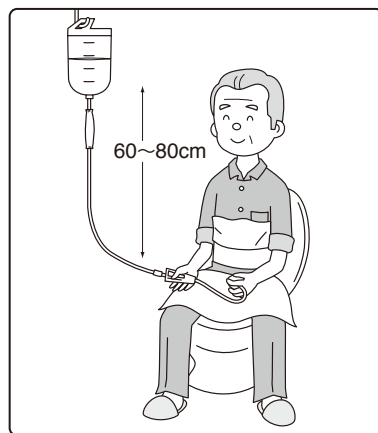
*使用する洗浄液は、清潔な38～40℃の微温湯（指を入れてやや温かい程度のお湯）を用いてください。



3. 洗浄液バッグをつるします

洗浄液バッグを目の高さ(ストーマから60~80cm高い位置にバッグの下端がくる程度)に移動式スタンドなどを使ってつるします。

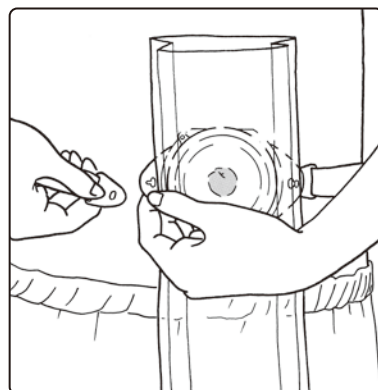
*洗浄液バッグの上端とストーマを同じ高さにすると洗浄液が腸に入っていきません。



4. フェースプレートとドレーンチューブを装着します

フェースプレートにドレーンチューブのリング部を取り付け、胴ベルトで固定します。ドレーンチューブのすそは便器内に入れておいてください。この時、衣服が汚れないように下半身をバスタオルなどで覆っておきます。

*フェースプレート装着部位の皮膚に粘着剤が残っていないことをご確認ください。

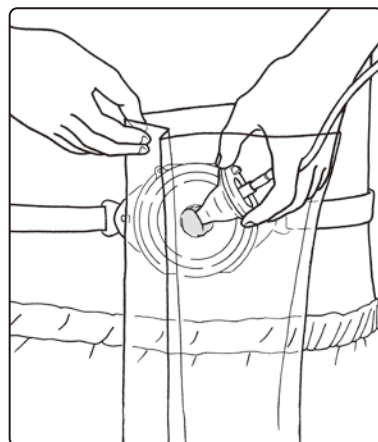


5. ストーマにストッパーを挿入します

ストーマにストッパーをゆっくり挿入します。

*ストッパーをあまり強く押しすぎるとストーマ孔に傷をつけたり、出血や痛みを起こす原因となります。

*ストッパーの先端に潤滑油をつけるとスムーズに挿入できますが、必ず医師に相談してから行ってください。



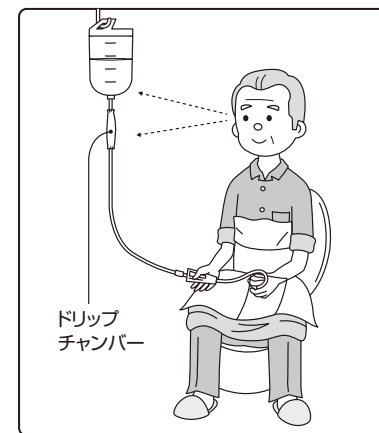
6. ストーマから微温湯を注入します

医師の指示量を1分間に100mLくらいの速さで注入します。

洗浄液バッグの目盛りは、バッグに入っている量と注入量が変わるようになっていきますので、この目盛りやドリップチャンバーで洗浄液の流れを確認しながら注入します。

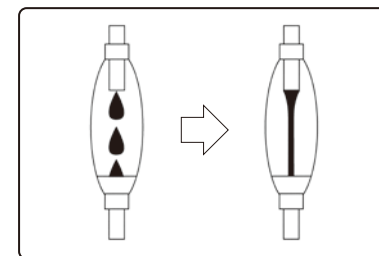
*注入量(約500~1,000mL)は大腸の長さなどによって個人差がありますので、必ず医師の指示に従ってください。

*おなかのはたってきた場合は注入を一時中止し、しばらく様子を見てください。



《注入速度の目安について》

ドリップチャンバー内の水滴が一筋の流れに変化した時が、1分間に約100mL注入している目安です。



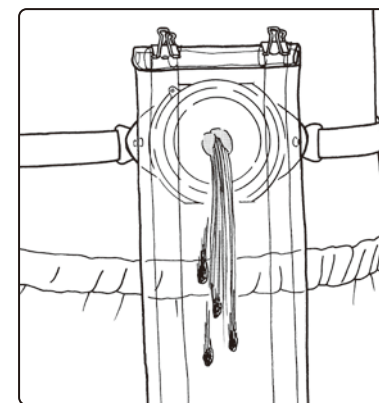
7. ストーマをストッパーで押さえます

指示量を注入後、ロールクランプを強く閉め、洗浄液の注入を止めます。そのままの状態ですら3~5分間、ストーマをストッパーで押さえおきます。

*気分が悪くなったり腹痛を起こした場合は、3~5分間待つ必要はありません。

8. ストッパーを抜き、排便します

ストーマからストッパーを抜き、排便します(便はガスと共に約30分間、断続的に排出されます)。この時、便が勢いよく出ますので、ドレーンチューブの上は折り曲げて付属のクリップで止めておいてください。

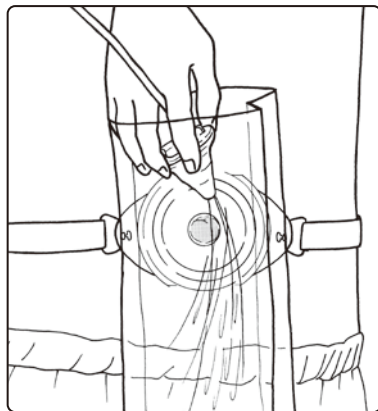


9. 後便(あとべん)を確認し、終了します

排便の最後に薄い黄色の粘液(後便)が出たことを確認し、洗腸を終了します。(人によっては後便が分からないこともありますので、ある程度便が排出されたら洗腸を終了しても構いません。)

10. ストーマ周囲と洗腸器具の洗浄をします

残っている微温湯でストーマ周囲やストッパー、ドレーンチューブの便を洗い流します。



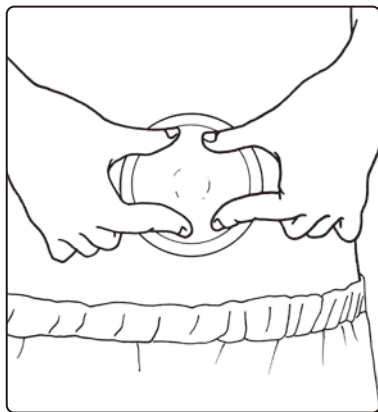
11. フェースプレートとドレーンチューブを取り外します

胴ベルトを外し、フェースプレートからドレーンチューブを取り外し、ストーマ周囲を清拭してください。

12. 洗腸後用装具を貼付します

ミニパウチやミニパッドなどの洗腸後用装具を貼付します。

*洗腸後、ストーマに何もあてがわず腸の粘液がストーマ周囲に付着すると皮膚カブレの原因となります。



《ユーケアー2・IS、プロケアー2・ISについて》

自然排便を併用する際の装具として、また洗腸後用装具としてユーケアー2/プロケアー2をお使いの方は、ドレーンチューブの代わりにユーケアー2・IS/プロケアー2・ISを装着することで、面板を貼ったまま洗腸が行えます。

- ① ストーマに合わせて、ご使用の面板を貼付します。
- ② 面板のサイズに合ったIS(イリゲーションスリーブ)を装着します。
- ③ 以後の洗腸方法については「使用手順の5~12」と同一手順で行ってください。

《細型ストッパーについて》

ストーマ孔が小さく標準の2段式ストッパーではうまくストーマに密着しない方には、先端が細い《細型ストッパー》(別売)が適しています。

器具のお手入れについて

- 洗浄液バッグ、チューブ、コネクター、ストッパーの洗浄は、水または中性洗剤を使用してください。
- 中性洗剤で洗った場合は、よく水洗いしてください。
- 熱湯や薬液は器具の変形、破損を起こすことがありますので絶対に使用しないでください。
- ご使用後は、よく洗い流してから陰干しで乾燥させてください。汚れや水分が付着したまま本品を保管すると、洗浄液バッグ、ストッパー、チューブなどにカビが発生し、黒くなることがあります。

保管上のご注意

品質劣化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。

- 高温・多湿の場所での保管
- 温度の低い場所(冷蔵庫など)での保管
- 直射日光が当たる場所での保管
- 圧迫がかかる場所での保管
- 長期保管

廃棄方法

- 本品は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合がありますので、詳しくは各自自治体へご確認ください。

このような場合には

このような場合	お調べいただくこと	処置のしかた
洗浄液がストーマから腸に入っていない	ロールクランプは開いていますか？	ロールクランプを確実に開いてください。
	洗浄液バッグの位置が低すぎませんか？	目の高さにバッグの位置を上げてください。 (5ページ「使用手順3」参照)
	ストッパーの先が腸壁につかえていたり、固い便が詰まっていますか？	ストッパーの角度を変えたり、体を曲げ伸ばして姿勢を変えてみてください。
洗腸中に腹痛が起きる	洗浄液の温度が低すぎたり、注入速度が速すぎたりしていませんか？	洗浄液の温度(38~40℃)や注入速度(1分間に約100mL)をもう一度確認してください。
洗腸中に気分が悪くなる	洗浄液の注入量は正しいですか？	注入量は個人差がありますので、必ず医師の指示量を注入してください。
	洗浄液の温度が低すぎたり、注入速度が速すぎたりしていませんか？	洗浄液の温度(38~40℃)や注入速度(1分間に約100mL)をもう一度確認してください。
	食後1~2時間以内や空腹時に洗腸を行っていますか？	食後1~2時間や空腹時は避けるようにしてください。

このような場合	お調べいただくこと	処置のしかた
ストッパーを外しても便も水も出てこない	洗浄液がストーマから腸にきちんと注入されていますか？	確実に洗浄液が注入されているか確認しながら洗腸を行ってください。
洗腸しても3~4時間後に便が出てしまう	洗浄液の注入量が少なすぎませんか？	必ず医師の指示量を注入してください。 注入量が足りないと、腸の中の便が全て出きらずに残ってしまうことがあります。どうしてもうまくいかない場合は、不意の排便に備えて装具を装着して管理することをお勧めします。
ストーマから出血する	ストッパーで強く圧迫していませんか？	ストーマは粘膜ですので、圧迫や摩擦により出血しやすいため、ストッパーをむりやりに挿入しないでください。
ストーマ周囲が赤くカブレている	洗腸後用装具(ユーケアやミニパウチなど)を貼らずに管理していませんか？	洗腸時以外には便が出ないのに、ストーマ周囲が皮膚カブレしている場合は、腸の粘液の付着が原因と思われます。粘液が皮膚に付着しないように、ミニパウチなどをつけて管理してください。

*上記の処置を行っても症状や状況が改善されない場合は、必ず医師の診察を受けるようにしてください。